

## 5 | H.C.R.セミナー

### 例年以上に幅広い方々の日々に役立つ多彩なテーマを開催

福祉サービスを利用されている方々やその家族、福祉・介護関係者、企業関係者などに向けて、社会保障関連制度の動向や課題、福祉サービスの質の向上や施設の経営をめぐる最新の情報などを提供する場として、計10講座を開催し、延べ3,265人が参加しました。

#### (1) 一般、福祉サービス利用者・家族向け

##### ① 一般家庭の介護で腰痛にならないための基本技術

～ボディメカニクスの理解と活用～

日時	10月10日(水) 10:30～12:00
会場	特設会場G2(東8ホール内)
講師	青柳 佳子氏 浦和大学 短期大学部介護福祉科 特任教授

##### ② 補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を理解しよう

日時	10月12日(金) 10:30～12:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	高柳 友子氏 日本身体障害者補助犬学会 理事/医学博士

##### ③ はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー

下記3編10テーマに分類された福祉機器(用具)の適切な選び方・使い方などを各専門家がわかりやすく解説しました。



10月10日(水) 住宅改修編	● トイレ・排泄用品 ● 住宅改修 ● 入浴機器
10月11日(木) 基本動作編	● ベッド ● リフト等移乗用品 ● 杖・歩行器等補助用品 ● 車いす
10月12日(金) 自立支援編	● 福祉に役立つ情報機器・電子機器 ● 福祉車両 ● 自助具

※会場はいずれも特設会場D(東6ホール内)

##### ④ 高齢者むけの手軽な日々の食事

～総菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ～

スーパーの総菜・レトルト食品などをもとにして、ひと工夫を加えることによって、高齢者の毎日の食事を、簡単で、豊かに、かつ、栄養バランスがとれる食事の作り方を実演を交えて紹介しました。

日時	10月10日(水)～12日(金) 13:00～14:00
会場	特設会場A(東1ホール内)
講師	今 寿賀子氏 虎の門病院 栄養部 前部長 押田 京子氏 虎の門病院 栄養部 副部長

#### (2) 福祉職・介護職向け

##### ① 福祉施設の実践事例発表 ～役立つ、活かせる工夫とアイデア～

日時	10月10日(水) 13:30～16:00
会場	特設会場G1・G2(東8ホール内) ※高齢者福祉分野と障害者福祉分野を2会場にて開催
発表事例	<p>≪特設会場G1/高齢者福祉施設・事業所における工夫事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症高齢者とのコミュニケーション法(バリデーション)を現場実践に活かす</li> <li>● ICT活用による業務効率化 ～インカム・タブレットの導入による魅力ある職場づくり～</li> <li>● 排泄予知デバイスDFreeを活用した排泄ケア～QOLの向上につながる実践～</li> <li>● 『ながはま子ども食堂』から、地域の輪の広がりに ～子どもが元気+大人が元気=地域が元気!～</li> <li>● 外国人介護人材との共生～事業を継続していくための決断～</li> </ul> <p>司会進行:湯川 智美氏 社会福祉法人 六親会 常務理事、一般財団法人 保健福祉広報協会 監事</p> <p>≪特設会場G2/障害者福祉施設・事業所における工夫事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● リフト導入による利用者の安心安全な支援の実現</li> <li>● 地域に根ざし、高売上を実現するファール ニエンテ(A型事業所)の挑戦 ～『味』『ひと』『場所』三位一体の訴求力～</li> <li>● 福祉機器の活用による骨粗鬆症の方への自立支援</li> <li>● 競争相手のいない商品開発で就労継続支援B型事業利用者の工賃財源確保を</li> <li>● 障害者支援施設 誠光荘の災害への取り組み～群馬県災害ネットワークとの連携～</li> </ul> <p>司会進行:久木元 司氏 社会福祉法人 常盤会 理事長、一般財団法人 保健福祉広報協会 理事</p>

##### ② みんなの認知症情報学による根拠に基づくケアの実現

～認知症の人の情動理解とコミュニケーション支援～

日時	10月11日(木) 10:30～12:00
会場	特設会場G2(東8ホール内)
講師	石川 翔吾氏 静岡大学 情報学部 助教

##### ③ 福祉施設における感染症の知識と対応

～知っておきたい感染症対策のポイント～

日時	10月12日(金) 13:00～14:30
会場	特設会場G2(東8ホール内)
講師	石原 美和氏 公立大学法人 宮城大学 看護学研究科 教授

##### ④ 福祉機器をめぐる二つの最新動向 ～貸与制度はどう変わるか、介護ロボット等の施設活用をいかに進めるべきか～

日時	10月12日(金) 13:30～15:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	五島 清国氏 公益財団法人 テクノエイド協会 企画部長

#### (3) 企業関係者向け

##### ① 介護ロボット(福祉機器)の安全性・導入効果を最大化するために

～安全性認証と効果測定をとりまく情勢と実務～

日時	10月10日(水) 10:30～12:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	大場 光太郎氏 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター 副研究センター長 吉村 俊厚氏 経済産業省 製造産業局産業機械課 ロボット政策室 室長補佐(ロボット政策担当)

##### ② 超高齢社会先進国・日本が手掛ける介護・福祉イノベーション

～日本とアジア諸国の現状・課題とともに～

日時	10月11日(木) 10:15～11:45
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	Dr. Intan Murnira Ramli ERIA (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia) 井上 剛伸氏 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長 Mr. Chua Hoi Wai 香港社会服務聯合会 (The Hong Kong Council of Social Service) Mr. Sranayoo Chanate Chief Executive Officer, Kluaynamthai Hospital Bangkok, Thailand Dr. Nart Fongsmut Sawangkanives Home for Thai Elderly Prof. Liang-Kung Chen National Yang Ming University, Taipei Veterans General Hospital
モデレーター	富原 早夏氏 経済産業省 ヘルスケア産業課医療・福祉機器産業室長

## 6 | 特別企画

様々な企画ごとに製品の常設展示、相談受付、講座などを実施

##### ① アルテック講座2018 ～身の回りにおけるテクノロジー(アルテック)で創る豊かで楽しい生活

<特設会場B(東6ホール会議室)>

本講座では、スマートフォンやタブレットなどの情報機器や電子機器を、障害のある人の生活や学習・就労支援に活かすアイデアとともに紹介しました。



##### 【講座テーマ】

10月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見ることに困難のある人のスマホ・タブレット活用 ーアルテックを用いた視覚障害のある人の生活支援ー</li> <li>● 身の回りにおける情報機器を用いた障害のある人の生活支援 ーパソコンやスマートスピーカーの利用ー</li> <li>● スマホやタブレットのアクセシビリティ ー肢体不自由の人がスマホやタブレットを使いこなすー</li> </ul>
10月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育の合理的配慮とアルテック</li> <li>● 障害者雇用とアルテック ー障害者雇用現場でのアルテック活用の実例ー</li> <li>● 身の回りにおけるテクノロジー(アルテック)が支援技術に変わる ー高齢者や障害のある人の生活支援ー</li> </ul>
10月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アルテックを読み書きなどの学びのツールに変える ーアルテックを用いた発達障害や認知障害のある人の生活支援ー</li> <li>● スマホ・タブレットや3Dプリンターを生活支援ツールに変える ー肢体不自由のある人の支援のポイントー</li> <li>● アルテックを利用した重度肢体不自由や重複障害のある人の生活・コミュニケーション支援</li> </ul>

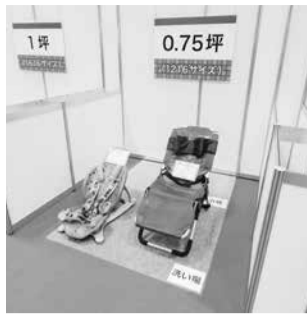
② 障害児のための「子ども広場」

<特設会場C (東6ホール内)>

障害のある子ども向けの福祉機器の開発・普及や親の子育て療育の不安を解消するため、下記4つのコーナーを開設しました。

●福祉機器展示コーナー

親子で参加して試せる子ども向けの福祉機器の展示と製品説明を行いました。



展示製品	●車いす ●バギー・歩行器 ●いす・カーシート ●学習・訓練機器/コミュニケーション機器 ●食器用具・食器/衣類・靴 ●入浴用具/家具
------	---

●相談コーナー (療育相談と福祉機器相談)

「療育」と「福祉機器」のそれぞれに相談員を配置し、相談に応じました。

●現在も未来も大切です！子どもの住まい(肢体不自由・発達障害)相談コーナー

子どものための住宅改造事例を肢体不自由編と知的障害・発達障害編に分け、パネルで紹介し、リハビリテーションセンターの建築士などが相談に応じました。

●ひとやすみコーナー

保育士が常駐し、おもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者と子育てについてお話する場としました。

③ 日常生活支援用品コーナー「片手でも使えるモノ展」

<特設会場C (東6ホール内)>

本コーナーでは、「片手でも使えるモノ展」と題して、ブース内を一日の生活の中の具体的な場面に分類し、場面ごとに役立つ製品を常設展示しました。また、一部の製品は、H.C.R.セミナー「高齢者むけの手軽な日々の食事」を開催する特設会場A (東1ホール内) でも展示しました。



④ 補助犬コーナー

<特設会場C (東6ホール内)>

障害のある方のパートナー「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」を紹介する場を新設しました。



本コーナーに関連して、⑥体験スペースで行われた「補助犬3種によるデモンストレーション」やH.C.R.セミナーの「補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を理解しよう」においても、補助犬3種を紹介しました。

⑤ ふくしの相談コーナー

<特設会場C (東6ホール内)>

作業療法士や技師などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じました。

⑥ 体験スペース

<特設会場C (東6ホール内)>

●補助犬3種によるデモンストレーション

10月10日(水)に1回、10月11日(木)・12日(金)は各2回、補助犬3種が間近でデモンストレーションを行い、補助犬3種の理解を深める場としました。



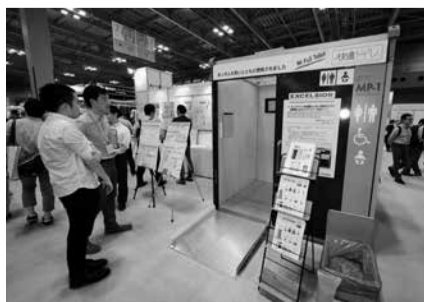
●自助具製作講習会

ストローホルダーやグリップ付スプーンの製作体験などを実施し、自助具に関する理解を深めました。

⑦ 福祉機器開発最前線

<特設会場E (東7ホール内)>

厚生労働省の障害者自立支援機器等開発促進事業の対象製品を含む10点超の最新の機器の展示とデモンストレーションを実施しました。



製品・プロジェクト名	協力企業・団体
1. シンクロアスリート VRとモーションベースで、スポーツの臨場感を体験するシステム	国立東京工業高等専門学校
2. 入浴介護アシストロボット 被介護者のより安全・快適な入浴と、介護者の負担軽減をめざすロボット	カナヤママシンリー株式会社 / 国立大学法人 富山大学
3. ライフラインを必要としない高性能な排泄処理剤によるバリアフリー仮設トイレ 災害等でインフラが寸断された時に使用できるバリアフリー仮設トイレ	株式会社エクセルシア
4. Vibracion Cajon 打楽器の発生する振動を活用し、障害の有無に関わらず一緒に演奏ができる楽器	金箱淳一 / モンブラン・ピクチャーズ株式会社
5. ratatap 音が「見える」ことで、障害の有無に関わらず音楽が楽しめる楽器	金箱淳一 / モンブラン・ピクチャーズ株式会社
6. Musiarm 欠損している腕に装着し、演奏することができる義手タイプの楽器	畠山海人
7. Qピット LED光やリズムを用い、すくみ足を解消する身体装着型の移動支援機器	有限会社ホームケア渡部建築
8. 指伝話コミュニケーションパック iPad上で動作し、日常会話機能やメール操作のアシスタント機能などを有するアプリ	有限会社オフィス結アジア
9. IoT杖による見守りサービス GPSなどが内蔵されたIoT機器を杖に取り付け、外出時の位置情報などを提供する見守りサービス	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
10. 視覚障がい者移動支援サービス スマートフォンなどを組み合わせ、目的地まで音声でのナビゲーションや障害物などを知らせるサービス	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
11. Body-KIN 介護予防・リハビリのため、「いす」から立ち上がる動作をカメラで計測し、筋力を測定するシステム	兵庫県立福祉のまちづくり研究所 ロボットリハビリテーションセンター
12. VRを用いたニューロリハビリテーション VRを使ったリハビリで幻肢痛の改善をめざす研究プロジェクト	国立情報学研究所 (稲邑研究室)
13. RODEM ベッドやトイレなどから一人で移乗ができる次世代型車いす	CBC株式会社

※12はブースでの展示・説明のみ

⑧ パラスポーツコーナー

<特設会場F (東7ホール内)>

パラスポーツを「見て・聞いて・体験して」知ることができる下記4つのエリアを新設し、パラスポーツの魅力を伝えました。

●コートエリア

オリンピックやパラリンピックに出場経験のあるアスリートの方々をお招きし、アスリートトークショーや、デモンストレーション・体験会を実施しました。

【アスリートトークショー】

日時	10月10日(水) 12:45~13:15
ゲスト	松田 丈志 氏 元競泳選手 村岡 桃佳 氏 パラアルペンスキー選手



【デモンストレーション・体験会】

ウィルチェアラグビー

日時	10月10日(水) ①11:30~12:30、②13:45~14:45 10月12日(金) ①11:00~12:00、②13:00~14:00
ゲスト	峰島 靖 氏 一般社団法人 日本ウィルチェアラグビー連盟 その他現役選手



車いすバスケットボール

日時	10月11日(木) ①12:00~13:00、②14:00~15:00
ゲスト	三宅 克己 氏 一般社団法人 日本車いすバスケットボール連盟 その他現役選手

※その他コートエリアでは、パラスポーツ用車いすの試乗体験などを実施し、常時パラスポーツの理解を深める場としました。

●パラスポーツミニ体験エリア

常時、誰でも参加することができるボッチャの体験を実施しました。

●パラスポーツ紹介エリア

パラスポーツの競技写真や使用されている機器・用具を常設展示しました。

●パラスポーツ機器最前線エリア

陸上用義足や競技用車いすなど、パラスポーツを支える最新機器の展示と、説明パネルでの解説を行いました。

⑨ 被災地応援コーナー

<ブース番号1-06-05 (東1ホール内)>

例年同様に、災害に見舞われ、復興に取り組みながら製造・生産活動に取り組む障害者就労支援施設・事業所の製品を販売しました。